

Earth Culture Festival  
地球文化祭

VOI. 2 GLORRY × Afghan

2018年7月8日(日)

- 11:30 ~ 16:00
- OSAKAなんみんハウス
- 入場無料 / カフェ有料
- 支援金 1口 500円から (ミニ冊子+ブルカ試着体験付き)
- お問い合わせ先  
Mail: nanminwelcome@gmail.com  
TEL: 06-6335-4440 (RAFIQ内)

主催  
GLORRY  
(グローリー)

協力  
ラーラ会

今回のテーマは  
アフガニスタン  
です!



難民問題を食や文化を通じて知ってほしい

「アフガニスタン」と聞いて、  
あなたはどんなイメージを浮かべますか？

タリバン、テロ、終わらない戦争と貧困…いまや危険な国の代名詞となってしまったアフガニスタン。でもこの国はもともと豊かな農業国で、シルクロードの重要な中継地でもあったことから、成熟した伝統文化があります。哀しく過酷な歴史を今も背負い続けている国であることは事実。しかし、人びとは力強く未来に向かって歩き続けています。そんなアフガニスタンを、ぜひ体験してみてください。

日本にもアフガニスタンから逃れて来た難民がいます

日本は国際条約である「難民条約」に加盟し、難民を保護する義務があります。アフガニスタンからも日本へ庇護（保護）をもとめて逃れてきた難民がいます。彼は外国の NGO に雇われていたというだけの理由で二度もタリバンに命を狙われ、危機一髪で日本に逃れてきました。しかしその彼すら日本政府は難民と認定しませんでした。命からがら祖国から逃れたのちに、再び日本の厳しい難民制度に立ち向かわなければならなかった一人のアフガン青年の半生から、「日本の難民問題」を一緒に考えてみませんか？



撮影：柄子真弓（ラーラ会）

افغان ستان

PROGRAM

会場

OSAKAなんみんハウス

〒532-0002  
大阪市淀川区東三国 4-9-13



大阪メトロ東三国駅より徒歩約10分

1階 アフガニスタン・カフェ

アフガニスタンを胃袋から感じよう!

代表的なアフガニスタンの家庭料理を、GLORRYがキッチンから提供します。(数量限定)

メニュー例

アフガンパラオ

人参・干しぶどうなどをトッピングしたアフガンの炊き込みご飯です。今回は特別に、パキスタンの誇る穀倉地帯、北東部パンジャブ地方で栽培されている香りの良い「パキスタン産バスマティライス(インディカ米)」で作ります!

ブラニ

茄子とトマトとヨーグルトを使ったヘルシーな家庭料理。パンにもご飯にも合います。

フェルニー

牛乳・生クリームを使った、アフガンでは子どもも大人も大好きなデザートです。

アフガンティーとアフガン定番のお茶うけ(干しぶどうとナッツ)

心地よい香りのカルダモン入り紅茶を、純アフガン産の干しぶどう\*やナッツと一緒に。

\*…干しぶどうは「NPO法人CODE海外災害援助市民センター」の「アフガニスタンぶどうプロジェクト」によって現地栽培されたぶどうです。http://code-jp.org/

2階 展示

アフガニスタンの文化・歴史・社会

アフガニスタンについて、もっと詳しくなろう!

アフガンの伝統的民族衣装やギリム織の実物、女性や子ども達の貴重な写真を展示します(協力:ラーラ会)。アフガンの歴史、文化、メイク、建築、スポーツから現在の紛争・社会問題まで、さまざまな角度からアフガンに触れてみてください。

ブルカ試着体験

男性もOK!!

どんな着心地?  
外はどんなふうに見える?



アフガニスタン難民からみる日本の難民問題

アフガニスタンは、2016年の難民出身国第2位(250万人)で、日本にも難民が来ています。しかし「難民鎖国」と言われるこの日本では、彼らのほとんどは難民と認められず、苦しい生活を強いられています。一人のアフガン青年を通じて、リアルな難民問題を感じてください。



イラスト: MEIKO ILLUSTRATION

注: 内容は変更になる場合があります。